

学校概要

創立 23 周年	学校長 山本 朝彦	副校長 品川 仁美	学期 2 学期制	児童・生徒数 487 人
学級数 一般級: 17 個別支援級: 2		主な関係校: 領家中学校 鳥が丘小学校		

学校教育目標

人とのかかわりを大切に、共に生き、互いに高め合い、心豊かに生きようとする子どもを育てます。  
 (知)学が意欲をもち、ねばり強くやり遂げようとする子どもを育てます。  
 (徳)自己肯定感や自尊感情をもち、相手を思いやり尊重するとともに、心豊かに自分らしく生きようとする子どもを育てます。  
 (体)生命を大切に、心身ともに健やかな体をつくろうとする子どもを育てます。  
 (公)わたしたちの「まち」を愛し、主体的に社会とかかわりチャレンジする子どもを育てます。  
 (開)さまざまな人とのコミュニケーションを通して、共に生きようとする子どもを育てます。

学校の特徴

本校は閑静な住宅地に位置し、児童は恵まれた環境の中で育っている。保護者や地域の方々の学校教育に対する関心や期待も大きい。横浜市学力・学習状況調査の生活意識調査からは「自分にはよいところがある」「自分からあいさつをしている」と回答した児童の割合が低く、自己肯定感、コミュニケーション力に課題が見られる。  
 このような実態を踏まえ「自己肯定感、自尊感情を育てる教育活動の推進」「主体的な態度や資質能力を育む授業力の向上」「様々な課題を抱える子どもに対応する、関係機関との連携、学校の組織力の向上」「保護者、地域、中学校との連携の推進、及び学校運営協議会の活用」の充実をさらに図る必要がある。

学校経営中期取組目標

- ・進んで人とのかかわりを合い大切に(自立)、共に高め合うこと(協働)に視点を当てた教育活動を進め、「自分大好き」「みんな大好き」「ひとみかがやく西が岡の子」(学校教育目標スローガン)を育てます(創造)。
- ・自己肯定感や主体的な態度、思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育成する授業に向けて、授業力向上に取り組みます。
- ・全教職員が学校運営に主体的に参加し、「子どもの未来のために」を合い言葉に、「活力」ある学校づくりを推進します。
- ・学校は家庭、地域、関係機関と連携を深め、学校運営協議会を活かした地域社会に開かれた学校づくりを進めます。

小中一貫教育の取組

領家中	ブロック	領家中学校 鳥が丘小学校 西が岡小学校
9年間で育てる子ども像	学区地域と関わり合いながら学び、地域を大切に作る子ども。大人・友達との関わりを通じて、豊かなコミュニケーション能力をもつ子ども。学習や生活のよい習慣を身に付け、確実に自分の力を伸ばそうと努力する子どもを育みます。	
自校の具体的取組	・領家中学校ブロック内の小中学校と算数・数学を核にした協働授業研究を通して、地域の課題の共有、資質能力を育成する授業研究の推進、合同研究協議会の開催等、学力向上に取り組みます。また、地域やブロックの幼稚園、保育園、高等学校とも連携を図り、児童生徒と部活動交流、職場体験や学校行事(作品展、運動会、早朝練習の中学生コーチ等)での交流を一層充実させるなど、連携を推進していきます。	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	全学級が、子ども主体、協働的な授業の実現に向けて、児童理解、教材研究、授業改善に取り組み、主体的な態度や思考力等の資質能力を向上させます。	・領家中学校ブロック全体で、地域の子どもの課題を共有し、主体性や自己肯定感を育むための授業改善に努め、思考力・判断力・表現力等の資質能力を育成する授業実践を推進します。また、体験的な活動や問題解決的な学習を積極的に取り入れ、自分の考えや思いを豊かに表現できる子どもを育てていきます。
豊かな心	だれもが、安心して、豊かに学校生活を送れるように、自己肯定感を育み、体験的な活動や音楽活動等を盛んにして豊かな感性を育みます。	・だれもが、安心して、豊かにを基盤にした学校づくりを推進し、特設音楽クラブや音楽朝会、生き物体験活動等を充実して、豊かな感性を育む教育の充実を図ります。 ・縦割り異学年交流活動を進めることで、友だちや自分のよさに気づき、個性の伸長や自己肯定感を共に高め合う子どもを育てていきます。
健やかな体	体力・運動能力調査結果と目標を、保護者や地域の共有・連携し、生涯にわたって体力を向上していこうとする心情を育みます。	・集会や中休みを活用して体力づくりにつながる取組(西が岡オリンピック、いきいきキッズ、縄跳び大会等)を行い、運動の思考力やコミュニケーション力の育成、達成感や成就感を味わい自尊感情を高めていきます。 ・子ども主体の運動会を計画し、生涯にわたり体力向上に取り組む心情を養います。
特別支援教育	通級指導教室や関係機関とも連携できる校内指導体制を充実させ、特別な支援が必要な子どもの状況に応じた指導、支援を実現します。	・子どもの実態や保護者の願いに寄り添った個別の教育支援計画を立て、継続的な支援ができるように校内支援体制を整備し、それぞれの保護者や子どものニーズに合った丁寧な支援を行います。 ・通級指導教室や関係機関とも連携して、様々な相談、支援が行えるようにします。
いじめに関する項目	学校や家庭、区役所、警察等の関係機関が協力・連携して支援できるようなしくみを整え、児童の健全な育成を図ります。	・子ども一人ひとりが安心して学校生活を送ることができるように、規範意識やコミュニケーション力の育成を図っています。また、西が岡スタンダードを指針にした指導を行います。 ・家庭や区役所、警察等の関係機関と協力・連携ができるよう、情報の共有に努め、連携した指導に取り組みます。
地域連携	学校・地域コーディネーターの役割を充実し、学校運営協議会とも連携して、地域の子どもの地域全体で育むことができるような取り組みを推進します。	・教育活動への保護者、地域人材等の教育力の活用、地域行事や地域奉仕活動への児童、教職員の参加などの取組を計画的に実施し、開かれた学校づくりを進めています。 ・学校HPや学校説明会を充実させ、学校の様子や取組を地域や保護者と共有すると共に、学校地域コーディネーターの行う土曜事業を推進します。
安全管理	子どもが安心して学校生活を送れるように、安全で安心な教育環境を整備します。また、計画的な防災訓練を実施し、自助・共助の精神を育みます。	・子ども達が安心して安全に学校生活を送ることができるように、設備の点検や安全な教育環境の整備に努めます。

人材育成・組織運営	主幹教諭を学校運営スタッフとして、学校評価を基にした課題の把握と改善に向けた取り組みを行い、学校組織の活性化を図っていきます。	・教職員の教師力向上を図るために、重点研究やメンター研修を充実させ、教科指導力や学級経営力、児童理解力を高め、人材の育成を図ります。 ・学年やブロック内での交換授業や合同授業、教科担任制等、柔軟な指導体制を取り入れることで、子ども一人ひとりに応じた指導の充実を図るよう取り組んでいます。
担当	川島 哲	